

大崎市



米倉鹿嶋神社 の献饌行事

よねくらかしまじんじゃ けんせん しんこく うじがみ たてまつ しんじんきょう
米倉鹿嶋神社の献饌行事は、新穀を氏神に奉り神人共
しょく
食を行う夜祭です。初穂 3 束、雌雉子 1 羽、鮑、鰹 2 匹、
大根、米を献饌します。祭礼は午後 9 時(旧午前零時)、一
切の照明を消した中、いなわら
稲藁を敷いた道の左右で、稲藁を焚
かがり び
いて篝火とし、その明かりの中を長床から社殿までけんせん
献膳行
列が進むところから始まり、しんせん
神饌の準備、献膳、どうみあげ
堂実献、
みきはいちよういん おにはらい
神酒拝頂飲、鬼祓、その他の儀式を経て直会となります。

この神社は、天文 4 年かんじょう
勧請の大崎耕土開拓以来の古社と
言われ、大崎氏の家臣がまつ
祀ってききましたが、昭和 23 年以
降は地区民も加わりさいし
祭祀が続いています。祭礼はいなめさい
新嘗祭そ
のものと考えられています。昭和
63 年に宮城県指定無形民俗文化
財に指定されました。祭礼は、旧
9 月 9 日でしたが、現在は 9 月第
2 土曜日に開催されています。

